

対象国の条件:

研修コース番号:201984965-J002

案件番号:201984965

主分野課題:環境管理/気候変動対策

副分野課題:資源・エネルギー/省エネルギー

使用言語:英語

**案件概要**

北海道は気候的、地理的理由から、特に暖房や移動に多くの化石燃料を使用しているが、一方で豊かな自然環境に恵まれ多様な再生可能エネルギーのポテンシャルがある。本コースでは、北海道が取り組む再生可能エネルギーについて理解を深め、地域レベルの再生可能エネルギーを活用した気候変動対策について応用力を高める。また、研修員間の意見交換を推奨し知見を共有する。

目標/成果	対象組織/人材	
<p><b>【案件目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特徴に合わせた再生可能エネルギーについて理解する。</li> <li>・開発途上国における地域レベルでの再生可能エネルギーを活用した気候変動対策について提案できるようになる。</li> </ul> <p><b>【成果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気候変動対策と再生可能エネルギーの関係について理解する。</li> <li>2. 地域資源を活用した再生可能エネルギーの概要を理解する。</li> <li>3. エネルギー資源として活用しうる地域資源の持続可能な利用の在り方を理解する。</li> <li>4. 再生可能エネルギーの利活用により創出される雇用や経済効果等について理解する。</li> </ol>	<p><b>【対象組織】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気候変動、または再生可能エネルギー推進の計画策定に携わる中央省庁/地方自治体</li> <li>2. 実際に関連するプロジェクトに参加・関係している人材や企業の能力強化に関わっている公的・民間機関等</li> </ol> <p><b>【対象人材】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気候変動、または再生可能エネルギー推進の計画策定に携わる中央省庁/地方自治体の担当部署に属する行政官。または、実際に現場のプロジェクトに参加・関係している人材や企業の能力強化に関わっている公的・民間機関等の職員。</li> <li>2. 関連分野での実務経験5年以上。</li> <li>3. 英語での研修に支障をきたさない語学力を有していること。</li> </ol>	
<p><b>内 容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ジョブレポートの作成、発表</li> <li>2. 日本の気候変動政策と、北海道、及び道内市町村の地球温暖化に関する施策の関連についての講義。北海道の地理的、社会的背景や地域課題を理解したうえで、地域特性を活かした気候変動対策についての講義。</li> <li>3. エネルギー収支の考えたと、地域資源の活用による再生可能エネルギーの利用実践についての講義、視察。</li> <li>4. エネルギー資源としての自然環境の持続可能な保全に関する講義と視察。住民参加・理解を促すための取組事例、環境教育についての講義、視察。</li> <li>5. 地域産業創出と関連した再生可能エネルギーの可能性に関する講義、視察。</li> <li>6. 自国の課題整理、ディスカッション、アクションプラン作成。</li> </ol>	<p><b>本邦研修期間</b></p>	<p>2019/10～2019/11</p>
	<p><b>担当課題部</b></p>	<p>地球環境部</p>
	<p><b>所管国内機関</b></p>	<p>JICA北海道（札幌）</p>
	<p><b>関係省庁</b></p>	
	<p><b>実施年度</b></p>	<p>2018～2020</p>
<p><b>主要協力機関</b></p>	<p>公益財団法人北海道環境財団</p>	
<p><b>特記事項 及び ホームページ</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本研修では小規模再生可能エネルギーの技術的側面には焦点を当てていない。</li> <li>2. 本研修は地域資源を持続可能に使用した再生可能エネルギーを取り扱うため、開発途上国の開発ニーズに合致すると考える。</li> </ol>	